

研修タイムテーブル【事業マネジメントコース モニタリング・評価編】

目標：JICAの草の根技術協力事業を実施する人が、事業の実施及び評価に必要な基礎知識を習得する

時間	内 容	方法	ねらい
9:30 ~ 9:50	講師、主催者挨拶 研修概要の説明	全体	・ 1日間の研修の流れをとらえる
9:50 ~ 10:30	WBS作成の続き スケジュール作成	グループワーク	・ 活動やサブ活動には「調査」「企画」「準備」本実施「モニタリング」「評価」といった典型的な技術移転の流れがあることを知ったうえで、スケジュールリングをする有用性に気づく。 ・ 他のグループの発表を聞いて、他のアウトプットの詳細計画について学び、WBSの全体像を把握する。
10:30 ~ 10:40	休憩		
10:40 ~ 11:30	WBS作成の続き スケジュール作成	グループワーク	・ 実施されているプロジェクトによく起こる遅れへの対応について学び、計画を修正する能力を高める。
11:30 ~ 11:40	休憩		
11:40 ~ 12:40	進捗確認に基づく計画修正	グループワーク	
12:40 ~ 13:40	昼食		
13:40 ~ 14:40	評価グリッドの作成(穴埋め)	グループワーク	・ DAC6項目に沿った評価グリッドの一部を作ってみることで、留意する点について知る。自分で事業を評価する際の不安を軽減する
14:40 ~ 14:50	休憩		
14:50 ~ 16:00	事実の確認 評価項目別の分析・判断	グループワーク	・ DAC6項目の価値判断・根拠を書くことが出来るようになる
16:00 ~ 16:10	休憩		
16:10 ~ 16:50	グッドプラクティス・教	グループワーク	・ 教訓・提言の意味と、それらの活用のされ方を知る
16:50 ~ 17:00	休憩		
17:00 ~ 17:30	全体ふり返り 質疑応答	全体	・ 習った知識や技術の中で、どの部分を特に活用したいと思ったか。あるいは、実践で活用することをイメージした際の不安を出し、意見を出し合うことで、活用へのハードルを下げる